



第34回秋田県JA農業機械大展示会

6月14日(水)から16日(金)の3日間、第34回秋田県JA農業機械大展示会が秋田県立スケート場で開催されました。最新型のトラクターや田植え機などをはじめ、穀物乾燥機や野菜の調製機械など、多くの農業機械が並びました。

当JAによる除草剤「ラウンドアップマックスロード」「バスタ」の特売が来場者の注目を集めたほか、肥料や農薬、農業融資の相談ブースやICTなどを利用した栽培技術の紹介コーナーなども設けられ、生産者と担当者の話が弾む様子が見られました。

📷 農機の展示や除草剤の特売でにぎわった会場



追分グリーンセンターの周辺を草刈り

6月10日(土)、追分地区の青年部員や青年部OB、生産者や追分地区を担当する職員ら約20名が集まり、草刈り作業に汗を流しました。

参加者は午前5時30分頃からスタートして効率よく草を刈り進め、1時間足らずで追分グリーンセンター、農機センター、追分低温倉庫、秋田市北部地区カントリーエレベーターの周りの雑草をきれいに刈り終えました。

追分地区では毎年、生産者や職員などが合同で施設周辺の環境美化に取り組んでいます。

📷 草刈りに汗を流した参加者



「わかみメロン」の出荷が始まる

男鹿市若美地区の特産「わかみメロン」の出荷が、今年も始まりました。6月30日(金の初日はハウス栽培の赤肉「サンデーレッド」「レノンレッド」が計365ケース出荷され、7月からは青肉「秋田美人」の出荷も始まりました。

野石集出荷所には生産者が多くの「わかみメロン」を積み込んだトラックで乗り入れ、職員らがネットの様子や糖度などの品質を確認しました。

「わかみメロン」の出荷は例年7月中、下旬に最盛期を迎え、8月上旬まで続く見込みです。

📷 初出荷のメロンが運び込まれる集出荷所



61団体に花壇用の花苗を引き渡し

6月15日(木)に青果物北流通センターで、16日(金)に四ツ小屋低温倉庫で、夏秋用の花壇用花苗が当JAから秋田市内の地域団体に引き渡されました。生産者が色鮮やかなマリゴールドやサルビア、ニチソウなどを次々と搬入し、会場を彩りました。

事前に申し込みした小学校や町内会、市民サービスセンターや児童センターなど61団体が、受け取りに訪れました。花苗は各施設や道路沿いの花壇、プランターなどに植えられ、各団体の緑化活動に役立てられています。

📷 会場に並ぶ色とりどりの花苗